

地域に開かれた施設を目指して
 (施設実習で期待すること)
 施設長 西川 慶次



当法人は、地域に開かれた風通しの良い施設を目指しています。幼稚園児や小学校児童との交流会。高齢者向け体操教室の開催場所として地域の方々への解放。介護系養成学校の実習生や、教職を目指す学生の施設実習の受け入れなどを積極的に実施しています。

この施設実習は、利用者やスタッフとのコミュニケーションを通して、福祉の現状について理解を深め、高齢者との関わりについて考えるよい機会です。入所者からの話を聞き、家族や家から離れて暮らしている利用者や家族の気持ちを、他人事でなく、自分事として受け止め、入所者・利用者の願いに応えることの大切さを感じてもらいたいと思います。

将来、様々な子どもたちとのコミュニケーション力を要求される職責を考えると、何を学ぶべきか考え、ライフホーム城山での体験を活かし、子どもや保護者から信頼される教師を目指してもらいたいと思っています。

～貸出スペースのご案内～



ライフホーム城山では活動の場として、スペースの貸出をしております。例えば、団体及び個人向けや地域交流の場など様々な活動に合わせ、スペースの貸出を行っております。1階食堂では最大30人まで可能なスペースをご用意しております。

お問い合わせ
 ライフホーム城山
 ☎042-783-0018
 (担当)小川・仁田原

城山もみじまつりに参加して

ライフホーム城山としてもみじまつりに参加させていただきます。以前は入所者の方をお連れして車いすダンス等に参加してまいりました。3年前からは社会福祉法人として地域福祉の拠点となるべく、入所中の生活の様子、デイサービスのレクリエーションの取り組み、地域の方達との交流等の写真を貼り出しています。また、福祉用具の展示や高齢者体験のキッドを身に付けて実際に体験して頂きました。



地域との連携



相原地域包括支援センター

「栗の里じよいふる」農園で健康作り
 相原高齢者支援センターは、相原地区担当として、平成26年4月に二本松に開所しました。地域の皆様と、同年9月にボランティア団体「じよいふるカフェ」を発足し、平成27年4月には地域高齢者の交流、認知症予防、認知症の当事者支援の一環として、「栗の里じよいふる農園」が開始されました。活動は月2回程度で農作業の体験を共有し、収穫の楽しみも分かち合っています。時に地域の小学生や障害者施設、保育園と合同作業を行い、世代を問わない笑顔あふれる交流の場となっています。このことは(たびたび)タウン誌等にも掲載され、地域内外から注目される活動の一つとなっています。



特養「わくわくクラブ」

「こんにちは」の元気なあいさつで、入所者の皆さんが楽しみにしている体操クラブが始まります。毎月第3水曜日の午後、「わくわくクラブ」の皆さんを中心に普段あまり動かさない体をゆっくと全身を動かす体操でほぐしてから、ボールや風船を使用して、頭の体操を兼ねてゲーム。花の名前や魚の名前を言いながらボールを回す、名前が思い浮かばずボールが溜まってしまう入所者もいながら、頭と体同時に動かすことに皆さん悪戦苦闘。多くの入所者が参加し、笑顔で楽しまれています。



居宅介護支援事業所 紹介

わたしたちケアマネジャー一同は、日々新たな気持ちで、城山地区・津久井地区・田名地区・大沢地区・相原地区・橋本地区・愛川地区の方々の相談業務を行っております。皆様が最も効果的に、保健・医療・福祉等のサービスをご利用できるよう、お手伝いさせていただきます。住み慣れた地域で「暮らしたい」という思いを実現・継続する為に、専門職や地域の方々と連携を取り、多様な支援を行なっていきます。ライフホーム城山居宅介護支援事業所まで気軽にお問い合わせください。



城山高齢者支援センター

地域との連携
 城山高齢者支援センターは城山保健福祉センター2階に移転をして3年目を迎え、今まで以上に相談を頂けるようになりました。昨年度は城山地区社協や住民の皆様と「城山保健福祉センターサロン」を開設し、英会話を取り入れるなど和やかな交流の場となっています。また今年度は地域の施設を活用した「認知症地域交流」カフェ」の開設に向けてボランティア、城山地区社協、自治会と連携し、温かい居場所づくりを進めています。

